

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

| | | | |
|----|----|----|-----|
| 分野 | 音楽 | 種目 | 音楽劇 |
|----|----|----|-----|

申請区分(申請する区分を選択してください。)

| | |
|------|-----|
| 申請区分 | A区分 |
|------|-----|

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

| | | | |
|---------|---|--------|-----|
| 複数申請の有無 | 有 | 申請総企画数 | 2企画 |
|---------|---|--------|-----|

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

| | |
|--------------------|--------------------------|
| 複数の企画が採択された場合の実施体制 | 公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能 |
|--------------------|--------------------------|

芸術文化団体の概要

| | | | |
|-------------------------|--|-----------|--|
| ふりがな 制作団体名 | とくていひえいりかつどうほうじんみらまーれオペラ | | 団体ウェブサイトURL |
| | 特定非営利活動法人ミラマーレ・オペラ | | www.miramareopera.com |
| 代表者職・氏名 | 理事長・松山郁雄 | | |
| 制作団体所在地 | 〒 223-0053 | 最寄り駅(バス停) | 東急東横線綱島駅 |
| | 神奈川県横浜市港北区綱島西2-2-12プリオール綱島式番館503 | | |
| 電話番号 | 045-530-8350 | | |
| ふりがな 公演団体名 | みらまーれオペラ | | 団体ウェブサイトURL |
| | ミラマーレ・オペラ | | www.miramareopera.com |
| 代表者職・氏名 | 芸術監督・松山郁雄 | | |
| 公演団体所在地 | 〒 223-0053 | 最寄り駅(バス停) | 東急東横線綱島駅 |
| | 神奈川県横浜市港北区綱島西2-2-12プリオール綱島式番館503 | | |
| 制作団体 設立年月 | 2008年10月 | | |
| 制作団体組織 | 役職員 | | 団体構成員及び加入条件等 |
| | 理事長 松山郁雄 理事 樋本英一 理事 馬場紀雄 監事 米村桐子 | | 指揮者、演出家、ピアニスト。歌手はオペラを専門とする歌手を企画毎にオーディションで採用。条件は経験と実力を有し自分のためではなく聴衆のための演奏姿勢を常に保てる事。 |
| 事務体制 事務(制作)専任担当の有無 | 事務(制作)専任の担当者を置く | 本事業担当者名 | 松山郁雄 |
| 経理処理等の 監査担当の有無 | 有 | 経理担当者名 | 米村桐子 |
| 本申請にかかる連絡先 (メールアドレス) | ikuo@miramareopera.com | | |

| | | | | |
|-----------------|---|---|----|--|
| 制作団体沿革 | <p>平成18年1月19日 有限会社ミラマーレ・ムジカ設立。</p> <p>平成20年10月15日 特定非営利活動法人ミラマーレ・オペラに組織変更。現在に至る。</p> <p>平成24年度より令和元年度まで京都芸術劇場春秋座でオペラ制作業務を受託。これまでに「ラ・ボエーム」「蝶々夫人」「セヴィリアの理髪師」「椿姫」「カルメン」「魔笛」などを制作上演した。</p> <p>平成27年度より本事業A区分の初採択を得て現在に至る。令和3年と4年にC区分の採択を得る。</p> <p>平成28年より(有)ミュージックアプリケーションとのJVにより、中学高校の芸術鑑賞会やクルーズ船飛鳥Ⅱのメインショーへの制作業務および人材派遣を開始。</p> | | | |
| 学校等における公演実績 | <ul style="list-style-type: none"> ◆平成28年11月28日 君津市市民文化ホールにおいて翔凜中学高等学校の芸術鑑賞会で「椿姫」と「愛の妙薬」のハイライト・コンサート。 ◆平成29年8月24日 えりも町立えりも中学校で「椿姫」と「愛の妙薬」のハイライト・コンサート。 ◆平成30年2月15日 春日部市民文化会館にて春日部共栄中学高等学校芸術鑑賞会でオペラ「カルメン」を上演。 ◆平成27年度～令和4年まで8年間、本事業に連続採択。全国の小中学校でオペラ「てかがみ」を上演。 ◆令和3年6月30日 八王子J:COMにて八王子学園の芸術鑑賞会としてオペラ「カルメン」を上演。 ◆令和3年11月5日 神奈川県立深沢高等学校の芸術鑑賞会でオペラ「カルメン」を上演。 ◆令和3年12月13日 都立大泉高等学校の芸術鑑賞会でオペラ「カルメン」を上演。 ◆令和4年8月 県立成田高等学校の芸術鑑賞会でオペラ「カルメン」を映像収録納品。 | | | |
| 特別支援学校等における公演実績 | <p>令和4年に那珂川市立岩戸小学校中川中学校後野分校という全寮制の小中一貫校において大きな成果を上げる事ができました。下記は校長先生からのお礼の手紙からの抜粋です。</p> <p>日頃、子ども達は見通しが持てない事に対しては尻込みしたり、不穏になり、知らない人と接することも身構えます。初めて出会った方たちの話を聞き、言われた通りに行動するなんて今まで見た事がなかったです。皆さんとご一緒した時間、話を聞き、指示があった通りに動き、自分なりに考えて演技をこなす子ども達の様子は、日頃からすれば奇跡のようなものでした。子どもたちが一生懸命に頑張ったのは、皆さんが子どもたちの様子に合わせ、的確に指示をして頂いたからです。何よりも皆さんがとても優しく温かく接して頂いたお陰と思います。本校の生徒は、生い立ちから大人を信用できない子がほとんどです。皆さんに出会えたことで、大人は信用していいんだという気持ちが積み重なったと思います。</p> | | | |
| 参考資料の有無 | 申請する演目のWEB公開資料 | 有 | | |
| | ※公開資料有の場合URL | https://www.youtube.com/watch?v=gXEDo_u78edQ | | |
| | ※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード | ID: | 不要 | |
| | | PW: | 不要 | |

公演・ワークショップの内容

【公演団体名

ミラマーレ・オペラ

】

| | | | | | |
|--|--|------|------------------|----------|-------------|
| 対象 | 小学生(低学年) | ○ | | | |
| | 小学生(中学年) | ○ | | | |
| | 小学生(高学年) | ○ | | | |
| | 中学生 | ○ | | | |
| 企画名 | 総合舞台芸術のオペラを日本語上演で オペラ「てかがみ」 | | | | |
| 本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付 | オペラ「てかがみ」 作曲:池辺晋一郎 台本:平石耕一 演出:三浦安浩 振付:三浦奈綾 | | | | |
| 著作権、上演権利等の 許諾状況 | 各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否 | 該当あり | 該当コンテンツ名 | 作品全曲について | |
| | 該当事項がある場合 | 権利者名 | 池辺晋一郎(日本音楽著作権協会) | 許諾確認状況 | 使用(上演)許諾取付済 |
| 演目概要 | <p><「戦争があった昭和」を次の世代に伝えるために> オペラ「てかがみ」は21世紀の幕開けを祝して若者達の未来へのメッセージを含め、西暦2000年に池辺晋一郎氏により作曲されました。以降全国各地で100回を超える公演をおこなっています。初演では第一回佐川吉男音楽奨励賞を受賞、平成25年には公益財団法人五島記念文化財団の助成対象作品に選定されています。</p> <p>この作品は終戦の昭和20年と21世紀を迎えようとする平成12年(西暦2000年)の二つの時代の日本を舞台に、小さな手鏡をモチーフとして「時代と国を超えた人間の愛」をテーマに描かれた感動の純日本産のオペラです。 物語はフィクションですが、新潟市を舞台に戦争当時の捕虜の過酷な処遇、学童疎開の様子なども巧みに表現されています。また広島と長崎の原爆投下や日本中の都市に甚大な被害をもたらした本土空襲の事実も重要なエピソードとして劇中で取り上げており、平和教育の観点からも有意義な内容を「オペラ」という芸術スタイルでしか味わえない「生の歌声と演奏で」楽しんで頂けます。</p> <p>別添ありくあらずじ></p> | | | | |
| 演目選択理由 | <p>舞台芸術の中でも、鑑賞の機会が少ない「オペラ」という総合舞台芸術を通じ、児童生徒や教員、保護者の皆様に「戦争があった昭和という時代を次世代に伝える」と言うメッセージをお届けしたいのです。 この作品は78年前の日本が経験した戦争の事実を元に人間の愛と尊厳、日本人が持つ素晴らしい気質を明瞭に伝えています。オペラはイタリアやドイツなどヨーロッパの舞台芸術と思われがちですが、池辺晋一郎作曲によるこの作品はまさしく「メイド・イン・ジャパン」！磨き抜かれたオペラ歌手の歌声により日本語で歌われるこの作品を、是非とも味わって頂きたいと願います。</p> <p><この作品は2つの時代(戦争当時とほぼ現代)の日本で表現されているのも興味深いところです。オペラ歌手の歌声や迫力で低学年でも充分に集中して楽しむ事が可能です></p> | | | | |
| 児童・生徒の共演、参加又は体験の形態 | 物語上でも小学校(または中学校)の生徒役として、女性担任教師の結婚披露宴式にお祝いの歌を届けに来るという設定で出演して頂きます(3つのシーンがありますので、シーン毎に別の生徒さんでの構成も可能です)。その他に戦時中のシーンでは疎開に行く子供達、労働をする子供達などの役でも出演して頂きます。 | | | | |
| 出演者 | ソリスト(歌手)9名 役者1名 合唱8名 オーケストラ6名 指揮者1名 計25名(出演者氏名については別添資料、No.2別紙メンバー表) | | | | |
| 本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む | 出演者: 25 名 | 運搬 | 積載量: 4 t | | |
| | スタッフ: 14 名 | | 車長: 8 m | | |
| | 合計: 39 名 | | 台数: 1 台 | | |

| | | | | | | |
|--|-------|--------|---------------|-----|---------------|--------|
| 本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安 | 前日仕込み | 無 | 前日仕込み所要時間 | | 時間程度 | |
| | 到着 | 仕込み | 上演 | 内休憩 | 撤去 | 退出 |
| | 8時 | 8時～10時 | 13時30分～15時20分 | 10分 | 15時30分～17時30分 | 17時45分 |

※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。

| | | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|------|--|
| 本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません) | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | |
| | 20日 | 15日 | 0日 | 21日 | 20日 | |
| | 11月 | 12月 | 1月 | 計 | 128日 | |
| | 19日 | 15日 | 18日 | | | |

※平日の実施可能日数目安をご記載ください。

| | | | |
|------------------|-----|--------|--------------------------|
| 児童・生徒の 参加可能人数 | 本公演 | 共演人数目安 | 30～60人程度が理想だが80名程度まで対応可能 |
| | | 鑑賞人数目安 | 500人程度(ただし体育館の大きさに依存) |

舞台設営に必要な広さは幅約14メートル、奥行き12メートル。体育館のステージ上は緞帳を開けてマイクや着付け用の楽屋として使用させていただきます。

1. 写真上段はオペラ「てかがみ」舞台全景。
2. 写真下段は参加生徒も含めた全員が舞台上に登場するオペラ「てかがみ」フィナーレのシーン。



公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出がわかる写真)



※採択決定後、図面等の提出をお願いします。

【公演団体名 **ミラマーレ・オペラ**】

| 児童・生徒の参加可能人数 | ワークショップ | 参加人数目安 | 30人～60人程度(見学の生徒数は制限なし) |
|-----------------------------|---|--------|------------------------|
| <p>ワークショップ 実施形態及び内容</p> | <p>標準:100分</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 歌とピアノによるミニ・コンサートは参加生徒の目前でよく知られた名曲などを演奏。感想を発表してもらい、歌手には声の出し方や歌い方などのワンポイント・レッスンをしてもらいます。(10分) 2. オペラ「てかがみ」の中で参加生徒の皆さんに歌って頂く合唱部分の指導をおこないます。(10分) 3. 演技表現の基本的指導と歌唱部分に伴うダンスの振付を練習します。(15分) 休憩(10分) 4. オペラ「てかがみ」のあらすじと参加生徒が担う役どころや登場シーンの説明をします。(15分) 5. シーン毎に出演生徒を割り振り、立ち位置を決めてそこに向かうための登場方法や導線の確認をし、内容を理解しながら演技的表現やセリフのタイミングなどを練習をします。 6. 登場から退場を一連の流れで実践して本番当日の最終リハーサルに結びつくようにします。(5と6で40分) <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> | | |
| <p>ワークショップのねらい</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1. 生の歌声を近い距離で聴いてもらう事で、オペラ歌手は大きな声を出す訓練ではなく、良く響く声を探求している事、即ちカラダという楽器をどのように使って声を出しているのかを知ってもらいます(ミニ・コンサート)。 2. 合唱や振付の練習を通して表現する事の楽しさを体験してもらいます(実技指導)。参加する生徒さんが劇中でどんな役柄で登場するのかを知り、登場人物になり切る事の楽しさと難しさを「オペラ」という演劇形態の中で感じ取ってもらいます。(模擬リハーサル) 3. 繰り返し練習をして技術や表現を身につける事は、日頃の学習にも当てはまるという事をワークショップを通じて経験してもらいます(反復練習の大切さ)。 | | |
| <p>その他ワークショップに関する特記事項等</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1. ワークショップまでに練習して頂きたい内容の資料(譜面やパート別の模範演奏を収録した練習用DVD)を事前にお送りします。実際にワークショップで体験する事で、自分たちの担う役割がいつそうリアルになって、本番のイメージがより明確になります。 2. 歌唱が苦手な生徒さんも安心して参加出来るように、疎開する子供達の役(約10人)や労働者に交じって荷物を運ばされる子供達(5人)など歌わないが重要な演技で参加するシーンもあります。 3. 体育館のステージ前に設置する幅5.4m×奥行3.6m×高さ0.9mの特設舞台の両脇のフロアも演技スペースとなりますので、車椅子や松葉杖での参加も問題はありません。 4. オペラに参加する生徒は舞台に向かって右側にスタンバイして出番を待ちます。出番の時以外はその位置で鑑賞をして頂けます。 | | |

本事業への申請理由

【公演団体名

ミラマーレ・オペラ

】

| | |
|--|--|
| <p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p> | <p>①本事業に対する取り組み姿勢</p> <p>a.特定非営利活動法人ミラマーレ・オペラは、これまでに実力あるオペラ歌手を起用して「小劇場で多数回の公演」を実践して成果を上げてまいりました。磨き抜かれたオペラ歌手の歌声と同時に、歌役者たちの繊細な演技的表現もしっかりと観客に伝える事を大切にしています。体育館での公演は観客との距離も近く小劇場での公演と共通点も多いため、歌声と共にきめ細かな表現も楽しめるオペラ鑑賞には最適な環境と考えています。</p> <p>b.この推進事業は芸術鑑賞の機会を得た児童生徒にとって貴重な経験である事は言うまでもありませんが、若手オペラ歌手達が、素直で感受性豊かな最高の聴衆(児童生徒)の前で演奏できる機会、即ち若手オペラ歌手達が研鑽と成長の機会を得られる場所でもあり得る事に、この事業の意義深さを痛感せずにはいられません。</p> <p>c.義務教育課程で本物の芸術を体験する事は、児童生徒個々にとって人生の方向性をも左右するものと考えています。鑑賞する生徒達が舞台芸術の道に興味を持って頂く事は我々にとって大変に嬉しいことではありますが、それ以上に義務教育課程終了後は文化芸術全般に触れる機会がほぼ皆無になってしまう児童生徒達のためにも、一生心に残るような上質な舞台総合芸術を体感して頂ける事を心がけています。</p> <p>d.オペラは長年の訓練で培った生の歌声で作られる舞台芸術です。ワークショップを経て本番当日には、参加生徒もプロのオペラ歌手と一緒に舞台上の人となり、一生忘れる事のできない貴重な体験をしてもらえる事に大きな意義と責任を感じています。</p> <p>e.全キャストとスタッフには、児童生徒、教職員や保護者の皆様に対してきちんとした挨拶や積極的なコミュニケーションをとる事、優れた演奏者や技術スタッフである前に、ひとりの人間として礼節と優しさを持った行動をとれるよう団体として指導を徹底しています。</p> <p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</p> <p>a.ワークショップと公演の準備は学校との連絡が可能になって以降、電話とメールを利用して担当の先生と密に連絡を取り合い、生徒参加数やワークショップまでの準備項目などを明確にしゆきます。また当日の備品借用などもスムーズに行えるよう事前連絡を徹底します。終演後のゴミ収集とモップがけなどの清掃作業と原状復帰は常に完璧に行うよう指導を徹底しています。</p> <p>b.担当の先生が、芸術鑑賞準備に関して様々な不安をお持ちの場合にも、事前の資料送付でワークショップと本番までの準備状況や参加生徒の練習の進捗状況について綿密なフォローをいたします。連絡記録はログとして残して弊社スタッフ間で共有します。</p> <p>c.模範歌唱と振付、ピアノ伴奏のみを収録した資料映像(DVD、Youtube)など、ワークショップ前後の練習に役立つ教材を準備しています。</p> |
|--|--|

| リンク先 | No.2 | 【公演団体名 ミラマーレ・オペラ 】 |
|------|---|--------------------|
| 項目内容 | <p><あらすじ></p> <p>平成12年 新潟市内の結婚式場 中学校教諭の武田亮子とアメリカ人の高校英語教師のジョンの披露宴が行われています。宴が始まって間もなく、会場で火災が起こります。炎を見た亮子の父の勇一は、これまで心の底に閉じ込めてきた55年前の空襲の辛い記憶を、突然思い出してしまいます。</p> <p>昭和20年の新潟港 五歳の勇一は母カヨに手を引かれ、港で働く父の姿を見に来ましたが、母子の目の前で父親の乗る船が事故に遭い沈没してしまいます。ショックを受けて気絶したカヨを、アメリカ人捕虜で軍医のチャードが介抱します。 カヨは五歳の勇一と共に長岡に疎開する事になり、夫の形見の小さな手鏡を自分を介抱してくれた軍医リチャードに手渡してくれるよう、夫の親友の運送会社の杉本監督に託します。</p> <p>長岡市空襲跡 8月1日の長岡大空襲を逃げ延びた五歳の勇一は、杉本監督と再会し、炎の中で母親を見殺しにしてしまった事を泣きながら告白します。杉本監督は「忘れろ！心の底に沈めて誰にも言うな…」と抱きしめ、カヨの面影が残る勇一を自分の子どもとして育てる決意をします。 終戦を迎え帰国する事になった軍医リチャードは、勇一と杉本監督に「時は流れ、この子たちがこの国を担う！この時代にあった事を忘れないなら…」と言い残して日本をあとにします。</p> <p>平成12年 結婚式場 亮子は、式場の火事がきっかけで思い出された父の辛く悲しい記憶を初めて耳にし、今まで父の苦しみにも気づかず教鞭をとってきた自分には、みんなから祝ってもらう資格などない！と披露宴の中止を申し出ますが、その時、父親の勇一が突然、リチャードの「この子たちがこの国を担う。この時代にあった事を忘れないなら…」という言葉を思い出したことから、リチャードがジョンの祖父であることが判明します。ジョンの母レイチェル(即ちリチャードの娘)は自分の母(リチャードの妻、劇中には登場せず)から渡された手鏡を亮子に渡すのですが、実はこの手鏡こそ、55年前に亮子の祖母カヨがリチャードに贈った「てかがみ」だったのです。亮子の祖母の手を離れアメリカに渡った手鏡が多くの人達の愛の力で再び日本人の手に戻った瞬間でした。披露宴は再開され、二人の希望に満ちた明日を全員で祝福して幕となります。 https://www.youtube.com/watch?v=1817YGKICec(あらすじを元にした8分程度の動画)</p> <p>疎開の場面(生徒参加のシーン)</p>  | |

| | 役名/役職 | 氏名 | 所属 |
|-------|-------------|--------|------------|
| No.01 | 指揮者 | 樋本英一 | フリー |
| No.02 | 武田勇一 | 大島嘉仁 | フリー |
| No.03 | 武田亮子 | 遠藤紗千 | フリー |
| No.04 | レイチェル・ターナー | 遠藤美紗子 | 藤原歌劇団 |
| No.05 | ジョン・ターナー | 川出康平 | フリー |
| No.06 | 会場係 | 内田雅人 | フリー |
| No.07 | 高校の校長 | 片岡美里 | 藤原歌劇団 |
| No.08 | 武田カヨ | 倉本絵里 | 福岡サンミュージック |
| No.09 | リチャード・マクベイン | 吉田連 | 東京二期会 |
| No.10 | 杉本監督 | 村松恒矢 | 日本オペラ協会 |
| No.11 | 5歳の勇一 | 立直花子 | Pカンパニー |
| No.12 | 合唱1(女学生) | 和久井恵津子 | フリー |
| No.13 | 合唱2(接客係) | 浅川荘子 | フリー |
| No.14 | 合唱3(市民) | 片岡美里 | 藤原歌劇団 |
| No.15 | 合唱4(学生) | 小山健太郎 | フリー |
| No.16 | 合唱5(捕虜) | 笹岡真一郎 | フリー |
| No.17 | 合唱6(アメリカ兵) | 岩田健志 | フリー |
| No.18 | 合唱7(アメリカ兵) | 塙 翔平 | フリー |
| No.19 | 合唱8(市民) | 藤本 慶 | フリー |
| No.20 | ピアニスト | 巨瀬励起 | フリー |
| No.21 | ヴァイオリン | 田澤明子 | Strumusica |
| No.22 | チェロ | 横山二葉 | Strumusica |
| No.23 | フルート | 浅田結希 | Strumusica |
| No.24 | クラリネット | 平井哲夫 | Strumusica |
| No.25 | 打楽器 | 竹内美乃莉 | Strumusica |